

バイクは日常点検が大切です!

バイクの乗り方は人によってさまざまです。

毎日乗っている人も、たまにしか乗らない人も、日常的な安全点検が大切です。

お出かけの前に、給油や洗車のついでに、愛車の状態をチェックしてください。



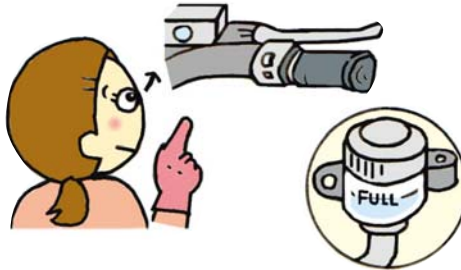
チェックしてみよう 10の安全点検

に を記入しながら、
実際に安全点検をしてみましょう。

チェック 1 ブレーキ(前後)
レバー(ペダル)の
遊び、きき具合。



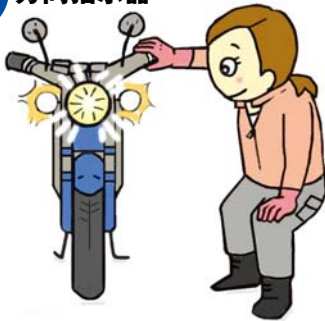
チェック 2 ブレーキ液の量
(前後)



チェック 3 エンジンオイルの量



チェック 4 灯火装置および
方向指示器



チェック 5 タイヤの空気圧
亀裂、損傷、異状摩耗、
溝の深さ。



チェック 6 冷却水の量



チェック 7 エンジンの
かかり具合・異音
バッテリー液の量



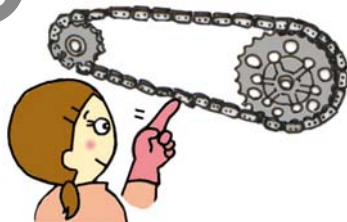
チェック 8 低速・加速の状態



チェック 9 運行において異状が
認められた箇所



チェック 10 チェーンの緩み
たるみすぎ、はりすぎ



日常点検は法律で定められており、ユーザー自身に保守管理する責任があります。1~9は法律に規定された点検項目。10はメーカーが指定する点検項目です。点検整備に関する詳しい情報は、バイクに付属するメンテナンスノートをご覧ください。

⚠️ 注意: バイクに異状が認められたときは必ず整備工場で点検整備を受けてください。
適切な整備がされないと、思わぬ事故につながります。

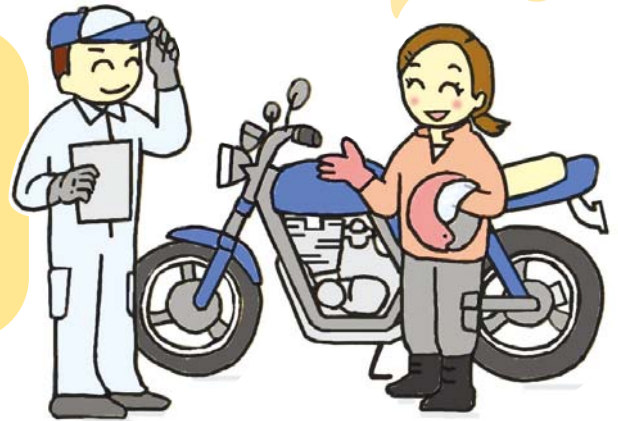
バイクの初回車検の有効期間が3年間となりました。

2007年4月1日以降に登録された251cc以上のバイクは、自家用乗用車と同様に、登録から1回目の車検までの期間が3年間となりました（従来は2年間）。
また、同時に6か月点検が廃止され、あらたに1年点検と2年点検が設定されました。
ユーザーの保守管理責任は、ますます重要なものとなっています。

定期点検
お願いします。

大切です! バイクの定期点検

安全確保と環境への配慮から、定期点検はユーザーの義務となっています。
自分で点検整備できない場合は、整備工場に依頼して行うこともできます。

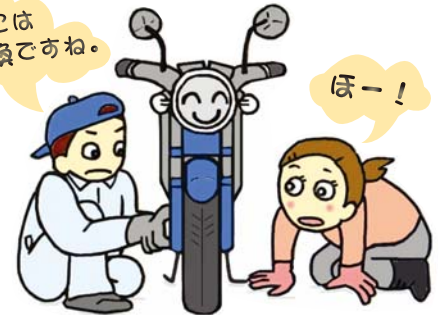


ここは
交換ですね。

ほー!

バイクには定期的に交換が必要な部品があります

バイクの部品には、使っているうちに摩耗したり消耗したりするものがあります。
ゴム部品などは経年変化で劣化してしまうため、一定の期間が過ぎたものは交換する必要があります。
部品の交換時期は、メンテナンスノートを参考にしてください。



主なオイル・液類

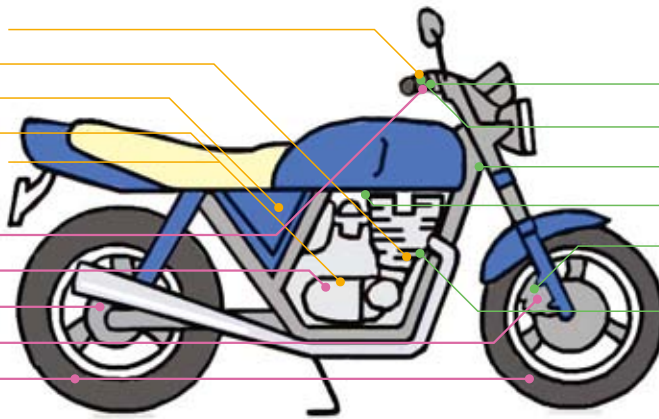
ブレーキ液、クラッチ液
冷却水
バッテリー液
エンジンオイル
トランスミッションオイル

主なゴム部品

クラッチホース
マスタシリンダカップ
ブレーキホース
燃料ホース
キャリパーシール
冷却水ホース
その他
オイルシール、オリングなど

主な摩耗部品

ワイヤ類
クラッチ板
ブレーキシュー
ブレーキパッド
タイヤ
その他 ドライブチェーン、Vベルトなど

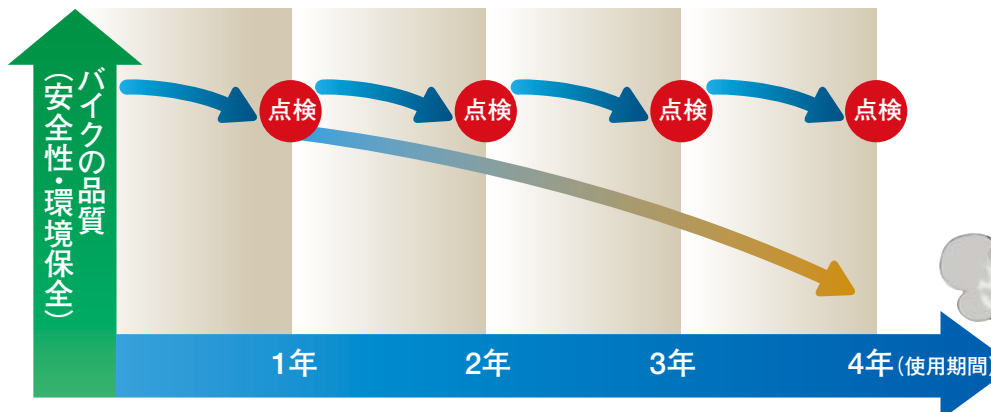


点検整備で安全・快適な状態を長く維持できます

経年使用によってだんだん低下してくるバイクの性能も、定期的なメンテナンスを行うことによって、良好なコンディションを維持することができます。

バイクの調子がいいと
気持ちがいい!

定期点検整備の時期



メンテナンスを
怠ると
思わぬトラブルに...

